

News Release

ちびまる子ちゃん 「～秋のおとぎ話劇場～まる子たち大変身！」がはじまるよ！ 10月2日(日)から5週連続放送

日本アニメーション株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:石川和子)がアニメーションの制作・ライセンス管理を行う『ちびまる子ちゃん』では、10月2日(日)の放送から10月30日(日)の放送まで、5週にわたり「～秋のおとぎ話劇場～まる子たち大変身！」をお送りします。おなじみの「おとぎ話」や「昔話」が、ちびまる子ちゃんらしくアレンジされる、大好評のシリーズです。あのキャラクターがああ登場人物に?!そして驚きの展開も...!思わずクスッと笑ってしまうこと間違いなしです、どうぞお楽しみに。



「～秋のおとぎ話劇場～まる子たち大変身！」概要

<放送日とエピソード>

- ・放送時間 午後6時00分～6時30分
- ・前半パートいつもの「ちびまる子ちゃん」らしいお話+後半パート「おとぎ話」や「昔話」を取り入れたお話

10月2日(日) 1356話『まる子、読書会をする』の巻 『まる子のブレーメンの音楽隊』の巻

～むかしむかし、一頭のロバ・まる子が農場で働いていた。しかし、飼い主の目を盗んではさぼってばかりの怠け者であったため、飼い主にお払い箱にされる。困ったまる子は、テレビで見た楽しそうなブレーメン温泉で音楽隊になることを決意。再び明るい気持ちでブレーメン温泉へと向かうのだが、その道中で...?



10月9日(日) 1357話 『まる子、自分の寝言が聞きたい』の巻 『まる子のふるやのもり』の巻
～むかしむかしのそのまた昔。とある山の中に小さな村があった。この村では近頃どろぼうが出るらしい。屋根の上で一句読んでいた友蔵狼は、その家に住むはまじのおじいちゃんが、この世で一番怖いのは「ふるやのもり」だと話すのを聞き、命からがら帰宅する。友蔵狼から、その話を聞いたまる子は、森の仲間たちと「ふるやのもり」の正体を突き止めようと出かけることに...



10月16日(日) 1358話 『ヒデじいの誕生日』の巻 『まる子のうさぎとかめ』の巻
～森の動物たちがかけっこをしていた。亀族のまる子、藤木、永沢たちは、スタートにすら間に合わず揉め始め、みんなに呆れられる。もうバカにされるのはいやだ、何とかしてかけっこで勝ち、みんなを見返してやりたいと思った亀たちは、特訓を始めるのであった。そしていよいよ、うさぎ族・大野くん、杉山くんたちとの勝負の日がやってくる。

10月23日(日) 1359話 『お母さん、シャンソンを習う』の巻 『まる子の田舎のネズミと町のネズミ』の巻
～あるところに田舎のネズミ・みぎわさんと町のネズミ・花輪くんがいた。花輪くんは、みぎわさんにお茶会の招待状をもらい、田舎に行くことになった。どんなところだろうと、ワクワクしながら出かけた花輪くんとヒデじいであったが、自分たちの暮らしとの違いに驚く。そして、今度は町にみぎわさんたちを招待するのであった。

10月30日(日) 1360話 『まる子、どちらを選ぶか迷う』の巻 『まる子のうらしまたろう』の巻
～むかしむかし、ある海辺の村にまるたろうという子どもがおじいちゃんと二人仲良く暮らしていた。ある日、まるたろうが釣りに出かけると、子どもたちが亀を囲んで何かをしていた。慌てて駆け寄ると、そこにいたのは不審そうな表情の亀。お互いの話を聞き、子どもたちと亀は仲直り。すっかり亀と打ち解けたまるたろうは、竜宮城に招待される。

【プロデューサー:福山晋司コメント】

大好評のシリーズを豪華5週間ぶち抜きで放送します！キャラクターがどう変身して登場するのか？物語はどう展開するのか？ぜひ楽しんで下さい！

<番組概要>

■タイトル

『ちびまる子ちゃん』

■放送日時

フジテレビ系列にて 毎週(日) 18時～18時30分放送

■キャスト

まる子(声:TARAKO)

お父さん(声:屋良有作)

お母さん(声:一龍齋貞友)

おじいちゃん(声:島田 敏)

おばあちゃん(声:佐々木優子)

お姉ちゃん(声:豊嶋真千子)

他

■スタッフ

原作:さくらももこ

脚本・制作協力:多田弘子(さくらプロダクション)

プロデューサー:福山晋司(フジテレビ)、田中伸明(日本アニメーション)

監督:高木 淳(日本アニメーション)

制作:フジテレビ、日本アニメーション

公式サイト https://www.fujitv.co.jp/b_hp/maruko/

ちびまる子ちゃん公式サイト <http://www.chibimaru.tv/>

参考資料

『ちびまる子ちゃん』について

「ちびまる子ちゃん」は、静岡県清水市(現・静岡県静岡市清水区)を舞台に、そこに暮らす一家・さくら家の次女である小学3年生のまる子(さくらももこ)と、家族や友だちとの日常を、楽しく面白く、時に切なく描いた心温まる作品です。

1986年に『りぼん』(集英社)で連載を開始し、2021年に原作35周年を迎えました。原作コミックスは全17巻が発売中。

2022年10月には18巻の発売も決定。発行部数は累計3,250万部を突破(デジタル版を含む)、海外版はアジア各国でも出版されました。1990年からはテレビアニメ放送もスタートし、フジテレビ系列で毎週日曜日夕方6時より放送中。中華圏をはじめとする海外でも放送され、世界中の老若男女を魅了し、長きに亘り愛され続けています。



©さくらプロダクション/日本アニメーション

<本件に関するお問い合わせ先>

日本アニメーション株式会社 広報・宣伝担当:村岡

電話:080-1250-4046 E-mail:muraoka@nippon-animation.co.jp

※画像掲載の際は画像下部に記載のコピーライトをご使用いただきますようお願い申し上げます。

©さくらプロダクション/日本アニメーション